

入選

(福岡県福岡市)

福岡県立筑紫丘高等学校 二年

原口 夏乃子

「神戸に引っ越した君へ」

君が神戸に引越して半年経ったよ。

この夏休み、一度だけ帰って来て、一日だけ会ったね。

その別れ際、わたし小さな声で嘘ついたんだよね。

「また明日」

いつものクセだったみたいで。

無意識。

その次の日、君は神戸に行ってしまうって知ってたはずだったんだけど。

前は当たり前だったのに。そんなこと、意識したこともなかったのに。

その時、「また明日」って君に言ったら、それって嘘じゃんって気付いた。

でも、それでもいいかなって思ったよ。

「まだいつかね」っていう曖昧な約束よりよっぽどいいよね。

君と、わたしの切なくて、残酷で、意地悪な、優しい嘘。

その場だけの、口約束。

守られることは多分、無い。

寂しきは、つのもるだけ。

それでも、変わらずに次会ったときにも、私は君に言うよ。

「また明日」

福岡のわたし